

優秀賞

個人

作田 恵弘【中央区】

長期にわたってほぼ毎日、荒津公園の花壇の手入れや清掃を行っており、活動をきっかけに地域の保育園の園児と一緒に植栽に取り組むようになるなど、交流が広がっています。

また、月1回の資源回収では、高齢者等の自宅へ直接伺うことで、持ち込みが難しい場合でも回収できるようなサポートを行い資源回収率を向上させています。他にも、簀子リサイクルステーションでの分別指導なども行っており、地域の美化やリサイクルへの意識向上に貢献しています。



優秀賞

団体

ウェットランドフォーラム【東区】

海の環境における干潟の重要性や恩恵を地域や子ども達に理解してもらうため、子どもたちに「和白干潟の子ども調査隊・ガタレンジャー」になってもらい、雁ノ巣および和白干潟周辺にて月1～2回、ツバサゴカイ観察会や冬鳥バードウォッチング、雁ノ巣干潟の清掃等の活動を実施しており、子どもたちが主体となって活動を行うことで、自主的に環境保全活動を行う力を養っています。

親子参加型の企画の実施や、子どもたちから身近な人に学びを伝えることによって、干潟や生き物を大切にする気持ちをさらに広げています。



優秀賞

個人

田上 稔【中央区】

当初は、勤務先である事務所周辺の掃き掃除から始まり、事務所の前が簀子公園だったことから公園の一部を清掃されるようになるなど、活動範囲がひろがっています。

ご自身の健康や、地域に住まわれる方が少しでも気持ちよく過ごせるようにとの思いから、簀子公園を中心とした周辺地域の掃き掃除や、空き缶・ペットボトルの回収、除草作業などを、20～30分程度、3名程度で行われています。

活動の継続を通じて、地域住民の方と挨拶を交わすようになり、顔見知りの方が増えてきたことで、交流も広がっています。



優秀賞

団体

奈多植林会【東区】

奈多海岸は、白砂青松の自然環境に恵まれた地域でしたが、近年は雑木や雑草の繁殖が著しく、白砂青松が減少しつつあることから、奈多海岸の保全や海岸松林の再生を目的に、長期にわたり、年5～6回、会の約50～60名で保全活動を行っています。

また、年2回は、奈多小学校の校外活動の一環として松苗の植林や清掃活動のサポートを行っており、次世代に技術を伝えながら、奈多海岸の白砂青松を持続的に守っていくための取り組みを続けています。

